

# 全員協議会会議録

- 1 日 時 令和5年7月21日（金）  
9時25分開会 9時52分閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席議員 山本奈央・田村幸紀・只野敏彦・川上 均・中河つる子・  
鈴木孝寿（欠席）・橋本晃明・桜井崇裕・佐藤幸一・西山輝和・  
中島里司・深沼達生・  
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
  - （1）議会運営委員会からの報告事項について
    - ・議会報告会と町民との意見交換会について
    - ・所管事務（議会活性化）について
    - ・選挙管理委員及び補充員の選挙について
  - （2）その他
- 6 会 議 録 別紙のとおり

【開会 9：25】

山下議長：鈴木議員から遅刻の申し出がある。只今より全員協議会を開催する。今日は議会運営委員会で進めている部分は何件かあり、議会運営委員会委員長からそれぞれ報告があるので、それについて皆さんにお知らせする場を設けさせていただいた。議会報告会と町民との意見交換会について、所管事務、議会活性化について、選挙管理委員及び補充員の選挙について、ということで3点ある。議会運営委員会委員長から報告願う。

(1) 議会運営委員会からの報告事項について

・議会報告会と町民との意見交換会について

橋本議員：前回までの議会運営委員会で検討されてきたことについて、全員協議会の中で報告させていただきたいと思う。議会報告会と町民との意見交換会については、10月25日に清水会場、26日に御影会場で検討している。中身については、議会報告会、これについては今までと同じような形で、議会の活動について報告する。意見交換会については、これまでと少し形式を変えて、グループディスカッション、最近の流行りなのかワールドカフェというような形で行いたい。参加された方から質疑が出たり意見が出たりというものを議会側が個人の意見は別として、議会としてそれを受けてという形に、どうもお互いに消化不良な部分があったというような反省も聞いているので、議員個々の考えと、町民それぞれ色んな考えを持っているということ踏まえた上で、グループで討論して、そこで出てきた意見をそれぞれの議員が議員活動の中に活かしていく、町民のマインドがどこを向いているかということも議会として、トレンドとして捉えていくというような形にしたいと考えている。具体的なテーマについては、議員定数や議員報酬の問題とか、女性議員の割合について、人口減少対策というようなことが上がっているけれども、その詳細についてはこれから検討していくということである。

山下議長：例年と変わった部分については、意見交換会の形式について、今までだと町への要望というのが多かったから、そういった部分も整理しながら、まちづくりについてのそれぞれの考えを聞いていく、議会運営について聞いていくという部分で、テーマとしては3点で今のところ進めている感じである。日にちについては広報委員会の方にもお願いして25日、26日ということで、広報の方にお知らせする形になっている。内容の詳細については広報には掲載していないので、それは準備中ということで進めているところである。何か質問等あれば伺いたい。

田村議員：グループディスカッションの時は、町民の皆さんから意見をいただいた時に、回答というわけではないが、話すと思うが、これは個人の見解を話すところまでできるのか、議会としてとなると個人的なものはなかなか話せない部分があると思うが、そこはそこまで踏み込んでいいのか。

橋本議員：議会報告会の部分についてはこれまでどおり、意見交換会についてはそれぞれ

の見識でというように考えている。

山下議長：それぞれ意見を聞くということで、個人個人の立場でのグループの中での話を  
していくという進め方で考えているということである。その他ないか。

(「なし」との声あり)

山下議長：それでは、今、議運の方で進めている内容で進めさせていただくことでよろし  
いか。

(「はい」との声あり)

山下議長：よろしく願います。また、テーマについて議運の方ではっきりしたら、全員  
協議会の方に報告する形をとりたいと思う。

#### ・所管事務（議会活性化）について

山下議長：続いて議会活性化、所管事務調査について、今進めている状況について議会運  
営委員会委員長から報告願う。

橋本議員：所管事務の中の議会活性化については、議員定数や報酬の検討を含めた議会活  
性化について、2月27日開催の全員協議会において、まずは議会運営委員会の中  
で検討していくことが確認されている。平成30年にまとめられた議会活性化  
特別委員会での検討があったが、この中で、14項目が検討されている。この中  
で、一般質問の答弁書の配布、広報広聴常任委員会の設置、模擬議会の開催、  
議会モニターの設置などの運用が始まっている。議員定数とか議会報酬につい  
ても検討されたけれども現行のままという形で続いている。委員会の所管は名  
称を変更して組み合わせだとか、委員会の任期は2年のままとしたところが前  
回までの流れと考えている。前回から5年が経過しており、清水以外の町では  
定数に満たないというようなことがあったり、議員のなり手不足ということが、  
逆に手不足の検討をしていく中で議会の活性化につなげている町とかもあり、  
これからの検討課題としては、タブレットの導入であるとか、議会運営委  
員会の中でもこれらについて検討していこうということで、検討を始めている  
というところなので、皆さんにもお知らせをしたいと思っている。ただ、  
すぐに答がでるようなものではないので、皆さんから色々な意見をいただきな  
がら検討してまいりたい。そして、また動きがあれば報告させていただきたい  
と思っている。今の現状であるが、議会改革度調査2022という早稲田大学のマ  
ニフェスト研究所というところがだしているものであるが、1400報告のあった  
議会のうち、清水町も274位にランクインしていて、インターネット中継の実施  
だとか、それなりに議会改革進めているということになっているが、更に、そ  
の時々町のまちづくりに寄与するように改革していければと思っているので、

皆さんにもご協力をいただきたいと思います。

山下議長：今、準備をしているということで、実際に項目としてどんなことを今議運として検討しているかという部分、項目をあげていただければと思う。

橋本議員：現在のところ、とりあえず先進地視察をして、清水町と交流を深めていながら、どういうところが必要なのかというところを勉強してまいりたい。事務局段階で、改革が進んでいると言われる芽室町と研修を進めてまいりたいと思っている。時期的なものについてはまだ詳細決まっていなくても、あとは、意見交換会のやり方等も含めて、様々な事をまた、浦幌町であるとかと勉強しながら進めてまいりたいと思っている。

山下議長：今のところ、近々では先進地を視察する予定ということで、項目については具体的に設けていないけれども、進んでいる町村を視察させていただき、清水町は274番目ということで、かなり進んでいるようにも感じるけれども、更に議会活性化を図っていくという意味で議運の中で協議をしているところである。これについては早急にまとめるという部分ではなく、議運の方が2年間委員としているので、2年間で中間的にまとめていくための勉強を進めていくということで委員長から報告があり、所管事務の関係で、議会運営委員会ではこのように進めているということで話があった。何か聞いておきたいという部分があれば質問いただければと思うが、よろしいか。

(「なし」との声あり)

山下議長：それでは、このような形で進めていただいて、また全員協議会の中で報告できることがあればその都度報告をよろしく願います。

・選挙管理委員及び補充員の選挙について

山下議長：続いて3点目の選挙管理委員及び補充員の選挙について、これについては私の方から説明させていただく。これは4年に1度、議会の方で議案提案するという形になっているので、例年どおり議運の中で候補者等に当たっていただいて、9月定例会の中で選挙管理委員、それから補充員の選挙という形で指名をあげながら選挙するという方法で4年に1度やっているが、これについての人選等は選管事務局と議運の中で協議しながら取り進めていくという例年の流れで取り扱いさせていただきたいと思うがよろしいか。

(「はい」との声あり)

山下議長：それでは選管委員と補充員の選挙については、例年どおりの進め方でよろしく  
願います。

橋本議員：スムーズにいくかどうかはわからないけれども進めてまいりたいと思う。

山下議長：人選にあたっては、9月定例会にあたっての全員協議会、8月24日までに議運  
の皆様にはご苦勞をおかけするが、人選を済ませていただいて報告できるよう  
な形で進めるという内容で伺っている。また、今の情勢としては、本人からの  
辞退は今のところないようなので、ある程度スムーズにその方たちがあたって  
みれば大丈夫かなというニュアンスは伺っているが、実際にいってみないとわ  
からないので、議運の委員の方々によりしく願います。

## (2) その他

山下議員： その他、議員の方から何かあれば。

只野議員： 定例会で一般質問が終わった後に、議会だよりに載せる文章で、3項目までし  
かだめというのを知らずに、今回4項目質問したので、4項目の中の答弁書を  
450字に収めればいいのかと思ったが、3項目しかだめだということで1項目除  
外したけれども、これは慣例なのかわからないけれども、3月議会から比べると1人減って、6人になっているわけだし、そんなにページ数を割くわけでは  
ないので、できれば4項目質問したところを答弁で450字以内に納めたので、載  
せてほしいと思っているけれども、急遽だったのでそれは了承したが、今後、  
できないというのであれば仕方ないけれども、できるのであれば4項目でも答  
弁書のところを450字に納めるのであればいいと認めていただきたいという思  
いである。

山下議長： 議会だよりに載せる内容について、4項目質問した場合に4項目載せられるか  
という部分の協議を広報委員会の方で行っていただきたい。広報委員会の方  
でも今年は色々工夫しながらやっているの、項目数についても広報委員会  
の中で協議いただければと思う。その他ないか。

中河議員： 議会だよりに関連してであるが、今回から質問も答弁も質問した議員が書く  
という事で、今までは答弁書は別の方が書いていたが、実際にやってみて質問し  
ていると答弁は書き留められないというものもあったりすると、何か録音装置  
を持って入らなければならないとか、なかなか難しいところがあるのだが、議  
会で発言したものを事務局の方ではいつ頃できるのか、そこを見られるのであ  
れば、もう少し自分の質問と答弁を正確に載せられるかなという感じがあるの  
だが。

議会事務局次長(川口二郎)： 正式な議事録というのは、大体2、3か月かかる。ただ、本  
会議場の録画しているYouTubeは日にち置かずにアップされているので、見るこ  
とは可能だと思う。

山下議長：まとめについては時間がかかるので、できればYouTubeで発信されているので、それを聞きながらということをお願いします。その他あるか。

(「なし」との声あり)

山下議長：その他、事務局から。

議会事務局長(大尾 智)：先日、自治体DX研修会についてということでメールさせていただいた。町が主催する研修会で、職員以外の議員にもぜひ参加いただければということでご案内したところである。業務のデジタル化として、会議のペーパーレス化等々について、検討を始めているということを知っている。議会についても、例えばタブレットを導入したりして、各種通知や議案、例規集もその中に入ったりというようなことをやりながら、タブレット端末の導入等についても、これから検討されていくのではないかと思います。具体的にいつから導入するという話がきているわけではないけれども、そういうものの一貫として、まずは研修会を行うということであるので、各議員においても時間等あればぜひ話を聞いて頂ければと思う。

山下議長：町の方では、全国的な流れから、自治体DXの流れについて今回研修を行う予定である。町としてもどの程度かはわからないが、各自治体の流れについて専門家の方が来て説明していただけるので、将来的にはそういう流れになるだろうということを踏まえながら、この研修会に参加していただければという話であった。議員個々の研修になるので、参考にいただければと思う。事務局には7月31日までに出席報告を願う。その他ないか。

(「なし」との声あり)

山下議長：それでは、これで全員協議会を終了する。

【閉会 9：52】